

平成 22 年東御市議会第 2 回定例会

市長招集あいさつ

(平成 22 年 6 月 3 日 午前 9 時開会)

はじめに

野山の木々も色濃く^{よそお}装いを改め、新緑の映える大変清々しい^{すがすが}季節を迎えました。

田植えの終わった水田には瑞々しい^{みずみず}早苗が列をなして靡き^{なび}、豊かな自然の中に溶け込む美しい風景を見るにつけ、心に安らぎと潤いを感じます。

自然の恵みに囲まれ、日々の生活を送ることのできるこの私たちの^{ふるさと}故郷を、未来を生きる子どもたちのために絶やすことなく伝承していきたい、改めてそう強く思うところでございます。

本日ここに平成 22 年東御市議会第 2 回定例会を招集申し上げましたところ、議員各位におかれましては、何かとご多端^{たたん}のところ定刻に（全員の）ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

市政運営の折り返しにあたり

さて、私が市政をお預かりして 4 月 25 日で丸 2 年が経過し、任期の折り返しが過ぎたこととなります。

議員各位をはじめ、多くの市民の皆様、また、関係機関及び団体の皆様方の暖かいご支援とご理解のもと、市政運営に携わることが

できましたことに、心から感謝申し上げます。

この間、庁内の会議に重きを置き、積極的に職員と対話をし、進んで現場にも足を運び、話し合い重視・現場重視の姿勢を貫いてまいりました。

開かれた市長室を標榜^{ひょうぼう}し、市の内外を問わず多くの皆さんとお会いし、お考えやご意見を拝聴^{はいちよう}する中で、沢山の課題を抱えながらも行政に求められていることからの多さを改めて痛感しております。

公約の実現に向けて、課題の一つひとつについて着実に取り組んでまいりましたが、合併後の大きな諸課題に対してもいよいよ着手すべき時を迎え、その方向性を見定める中で、徐々にではありますがそれぞれが動き出してまいりました。

（主要事業の胎動）

3月定例会以降の主な事項を申し上げます。

「1地区1保育園」の方針のもと、3月27日に御牧原保育園の閉園式典を行い、4月からは、中央保育園と統合し「北御牧保育園」として新たなスタートを切りました。

また、各園舎の改築事業の皮切りとして、本年度は祢津保育園の現地改築に取り組んでいるところであります。

3月28日には株式会社エフエムとうみの設立総会を開催し、今秋10月3日に予定する放送局の開局に向け本格的な体制が整いました。

4月22日には懸案でありました助産所の開設にあわせ、海野宿に玩具館がオープンし、合同の竣工式を執り行いました。

いずれの施設も、今後市のシンボルとして未永く愛されることを希望してやみません。

5月24日には商工会の通常総代会において、商工会館の移転案が承認されました。

このご決定は、昨年度各地区で開催したまちづくり説明会の主題である舞台が丘整備計画を新たに踏み出す第一歩として位置づけられるものであります。

更には、5月26日には図書館建設懇話会が開催され、市役所庁舎と合築で予定される新しい図書館建設における活発な論議が期待されております。

そんな中で、行動する市民と変化する時代の息吹^{いぶき}を実感しております。

これらの市民感覚と時代の変化をしっかりと受け止め、市政運営の責任者として、引き続き市民の目線に立った市民に優しい行政を念頭に置きつつ、更にスピード感を持って、芽を出した施策の根を太く深く伸ばすように、次の三点を政策展開の柱にして市政運営に邁進^{まいしん}してまいる所存でございます。

(社会・経済情勢への対応)

まず第一は、「社会・経済情勢への的確^{てきかく}な対応」であります。

わが国の経済状況は、直近(5月24日)に発表された政府の月例経済報告の中で、「景気は、着実に持ち直してきているが、なお自律性は弱く、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にある。」との基調判断が報告されました。

また、先行きについては「当面、雇用情勢に厳しさが残るものの、企業収益の改善が続く中で、海外経済の改善や緊急経済対策をはじめとする政策の効果などを背景に、景気の持ち直し傾向が続くことが期待される。一方で、欧州を中心とした海外景気の下振れ懸念、金融資本市場の変動やデフレの影響など、景気を下押しするリスクが存在することに留意する必要がある。また、雇用情勢の悪化懸念が依然残っていることにも注意が必要である。」としております。

地域における雇用状況に関しては、上田管内の有効求人倍率が相変わらず県内の下位を推移するほか、市内の企業においては、急激な需要低下や円高のため、一部に生産計画を日ごとに改めなければならぬ状況にあるとお聞きしました。

その影響を受け、市の財政状況も、尚一層厳しくなることが予測されますが、行政には如何なる逆境にも的確に対応しながら、行政サービスを安定して提供していかなければならない使命があります。

現時点では肌で実感できるような景気回復の確かな兆しに触れることが未だに困難な状況にありますが、国・県と連携を密接に図りながら、経済支援策、新たな雇用を創出するため、新年度当初に計上致しました予算の早期にして円滑な執行により、一刻も早い地域経済の回復に寄与できますように取組んでまいります。

（後期基本計画の具現化）

第二は、施政方針でも申し上げました「後期基本計画の着実な推進」であります。

将来にわたり輝き続ける東御市であるためには、明日を担う人づ

くりや、本市の自然、産業などの活力や魅力を伸ばす行財政運営が必要不可欠であります。

その指針としての「後期基本計画」を軌道に乗せてまいりたいと思います。

幸いにして、就任して二年間に蒔いた種は、様々な形で芽を出し始めています。

4年任期の後半にあたる今年は、更に花が咲き、実を結ぶように、計画の着実な推進を図ってまいります。

（地域力・市民力の醸成）

第三は、「地域力・市民力を生かしたふるさと東御づくり」であります。

持続可能な美しいまちづくりは、人・自然・産業の活力が溢れる魅力あるまちをつくることです。

そんな中で、小学校区単位による地域自治組織の活性化を推進することにより地域のコミュニティ、協働のまちづくりの進展に繋がればありがたいと思っています。

そこから生まれる市民力は、明日の東御市の礎いしずえとなる最大の力であります。

ここにきて、市内に明るい話題が立て続けに入ってきました。

財団法人日本美術刀剣保存協会が主催する今年の新作名刀展において、八重原在住の刀剣作家、宮入法廣さんが出品した短刀が、刀剣界で最高の賞とされる「正宗賞」を、県下在住者として初めて受

賞されました。

また、「第10回長野県レディース地区対抗ゴルフ大会」団体の部において東御市チームが健闘し、昨年に続いて栄えある連覇、通算4度目の長野県一に輝き、東御市の名を轟かせてくれました。

更に、梅野記念絵画館・ふれあい館に所蔵する自動演奏楽器・オーケストリオンがテレビ番組で紹介されたのを機に、九州大分県の女性から修理費としてふるさと寄附の申し出をいただきました。

まさに、善意の篤志寄附であり、意に沿った形で大事にしていきたいものです。

その他にも、スポーツ分野での好結果や、微笑ましく明るい話題が次から次へと報告されています。

いずれも市の誇りであり、これから後に続こうとする皆さんの目標であり、励みにもなります。

喜びや感動、また本市の風土や文化の共有などから生まれる連帯感や一体感、郷土愛は、「小さくともキラリと光る東御市」の元気の源みなもと、新たな活力として大いに期待しております。

私は、自ら定めた理想や夢は、全ての情熱を傾け、疑問を生じたときや困難な場面では原点に立ち返って、探求し続けることが大切であると考えております。

これからも、初心を忘れることなく、声なき声に耳を傾け、地域まいしんの力を結集して「小さくともキラリと光るまち」づくりに邁進したいと思います。

市民の皆様並びに議員各位におかれましては、尚一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本定例会の提案議案

さて、今議会に報告・提案申し上げます案件は、報告事案 3 件、専決処分の承認事案 7 件、補正予算事案 1 件、条例の一部改正事案 4 件、指定管理に関する事案 1 件の併せて 16 件になります。

議案を始め、いずれも喫緊にして重要な案件でございますので、審議につきまして宜しくお願い申し上げます。

それでは、本定例会に提案致します報告並びに議案につきまして、順を追ってその概要を申し上げます。

(予算の繰越について)

報告第 1 号から第 3 号までの 3 件につきましては、一般会計並びに事業会計（水道・下水道）において 21 年度に予算化されていた事業の 22 年度への繰越を「地方自治法施行令」並びに「公営企業法」に基づき、議会に報告するものであります。

国の経済対策（「きめこまかな交付金事業」）に伴い 2 月臨時議会においてご承認いただきました事業を中心に、事業名及び金額等の詳細につきましては、既に前段の「諸般の報告」においてそれぞれ担当の部長等から説明を申し上げたとおりでございます。

(専決処分の承認について)

次に、議案第 37 号から 43 号までの 7 件につきましては、法の定めにより 3 月 31 日付、4 月 30 日付及び 5 月 21 日付で行った専決処分について、それぞれ地方自治法の規定に基づき議会に報告をし、承認をお願いするものでございます。

そのうち「平成21年度一般会計補正予算(第8号)」につきましては、3月31日に専決処分をいたしましたので、このご承認をお願いするものであります。

その主なものは、特別交付税の増額補正約2億6,000万円、それに伴う基金積立金の増額の補正などであります。

また「平成21年度病院事業会計補正予算(第6号)」につきましては、案内標識設置工事費の確定に伴うものであり、3月31日に専決処分をいたしましたので、このご承認をお願いするものであります。

「平成22年度地域改善地区住宅改修資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)」につきましては、繰上充用に伴うものであり、5月21日に専決処分をいたしましたので、このご承認をお願いするものであります。

そのほか詳細につきましては、それぞれ担当の部長等から説明を申し上げますので、よろしくお願い申し上げます。

(補正予算について)

次に「平成22年度一般会計補正予算(第1号)」でございますが、歳入歳出にそれぞれ1億1,657万8,000円を追加して、総額を130億5,457万8,000円といたすものであります。

その主なものは、

- ・ 舞台が丘整備事業に伴う商工会館移転補償費
- ・ コミュニティ放送局施設整備補助金
- ・ 地球温暖化対策の一環としての住宅用太陽光発電施設導入補

助金

- ・ 国の緊急雇用創出事業に伴う臨時職員雇用
- ・ 海野地域の整備に係る歴史的風致維持向上計画策定費
- ・ 市営住宅建設事業費
- ・ 国民読書年に伴う読書推進事業

など、市の重点事業を中心に状況の変化に即応し、まちづくりを推進するための増額補正をお願いするものでありまして、県補助金、基金繰入金などを財源として充当するものでございます。

一般会計補正予算に係る詳細につきましては、担当の部長から細部にわたり提案の説明を申し上げますので、宜しくお願い申し上げます。

(条例の一部改正について)

続いて、条例の一部改正につきまして申し上げます。

議案第45号「東御市職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例」、議案第46号「東御市一般職の職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例」、議案第47号「東御市農業委員会の選挙による委員定数並びに選挙区の設定及び各選挙区において選挙すべき委員の定数に関する条例の一部を改正する条例」及び議案第48号「東御市公共下水道条例の一部を改正する条例」それぞれ既存の条例の一部を改正するものでございます。

詳細につきましては、それぞれ担当部長等から提案の説明を申し上げますので、宜しくお願い申し上げます。

(その他の案件)

また、議案第49号につきましては、当該施設の指定管理について、「地方自治法」並びに「東御市公の施設の指定管理の指定手続き等に関する条例」に基づき、議会の議決を求めるものであります。

今回、新たに4月に開設されました海野宿の玩具展示館に指定管理制度を導入致したく提案させていただくものです。

詳細につきましては、施設を所管しております担当部長から提案の説明を申し上げますので、宜しく願い申し上げます。

むすびに

以上、本定例会に報告・提案致します議案につきまして、その概要を申し上げます。

十分にご審議をいただきますとともに、それぞれの案件につきましての認定・ご決定を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

(資源循環型施設の建設)

さて、これまで上田地域広域連合が進めております資源循環型施設建設についてであります。ごみの焼却をはじめとする廃棄物処理につきましては、市民生活に直接かかわる重要な施策であります。とりわけ、資源循環型施設の建設につきましては、上田地域における永年の懸案事項であり、早急に解決しなければならない重要課題であります。

建設候補地の選定につきましては、昨年5月に「上田市東山地区

自然運動公園隣接山林」を候補地として断念するに至り、その後、上田地域広域連合におきましては、「ごみ処理広域化計画」の見直しを行うとともに、新たに公募により建設候補地を選定することとし、昨年12月1日から本年5月31日までの6ヶ月間、建設候補地の公募をまいりました。

その結果、8件の応募がありましたが、現在、広域連合におきまして、応募のあった該当自治会等への報告をしているところでございまして、今月開催されます正副広域連合長会で報告された後、公表される予定です。また、公表後は、広域連合事務局と組織市町村の関係職員で構成される「資源循環型施設建設候補地選定検討委員会」におきまして、選定作業を進めることになっております。

当市と致しましても、広域連合及び組織市町村と連携を密接にして協力してまいりたいと考えております。

（市政への決意）

地方分権が進む中、地方自治体における自己決定、自己責任の領域は益々拡大しています。

多様化・高度化する行政ニーズに的確に対応し、市民が真に望むサービスをタイムリーに提供できるよう、従前にも増して議論を重視し、役所組織の連携を一層強化するとともに、引き続き、「チームワーク」を柱に据え、一丸となって役所内の意識改革と職員の資質向上に努めてまいります。

昨日、^{にわ}俄かに政界に大きな激震が走りました。

歴史的な政権交代から僅かに8ヶ月余、鳩山首相の突然の辞任表明により、国政は益々波動し混迷の様相を呈しております。

国の政治が立ち行かずに不信感と閉塞感が極まりないこの時期、地方自治体を運営するには非常に困難を来たしております。

こんな時だからこそ、自立したまちづくりと安定した財政基盤の構築を進め、市民の皆様と一体となって、3万2千市民のために、自立し、安定した市政運営を進めるべく、そして、市民が「いつまでも住み続けたい」と願うまち、更には、明日を担う子どもたちに誇れるまちをつくるべく、リーダーシップを発揮し、^{ふんこつさいしん}粉骨砕身、努力してまいることを改めてここにお誓い申し上げ本定例議会招集のごあいさつと致します。